

旭山動物園総合事務所整備事業基本計画書 概要版

1.整備方針

機能性・安全性・将来性・環境配慮を統合し、人と動物の力を最大限に発揮できる旭山動物園らしい先端型総合事務所を計画します。

現状と課題及び総合事務所整備の必要性を踏まえ、総合事務所整備の基本方針を次のように設定します。

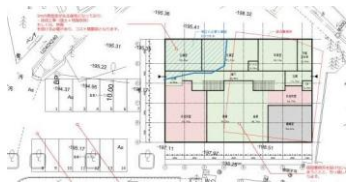
- ① 機能性：事務所本来としての機能を高め、業務の効率化を図ります
- ② 安定性：災害や事故、故障に強い事務所を目指します
- ③ 将来性：将来の施設改修や設備の更新時に有利な事務所を目指します
- ④ 環境への配慮：環境負荷低減の象徴となるような取り組みを行う建物を目指します

目指すべきゴール

- ① 事務所は、「後方機能」ではなく、「先端施設」として計画します。  
スタッフが快適に過ごすことができる空間を作ることで、力をさらに発揮でき、ひいては動物たち、来園者の幸福度を高められる執務室をつくります。
- ② 「行動展示」に代表されるような、旭山動物園らしい人間の能力や行動、感性を発揮できる環境を構築します。
- ③ 環境保全を発信される旭山動物園にふさわしい、建物のあり方で環境保全を発信できる計画とします。
- ④ 設計の要所において、職員に意見を求め、集まった意見を踏まえた計画を行います。

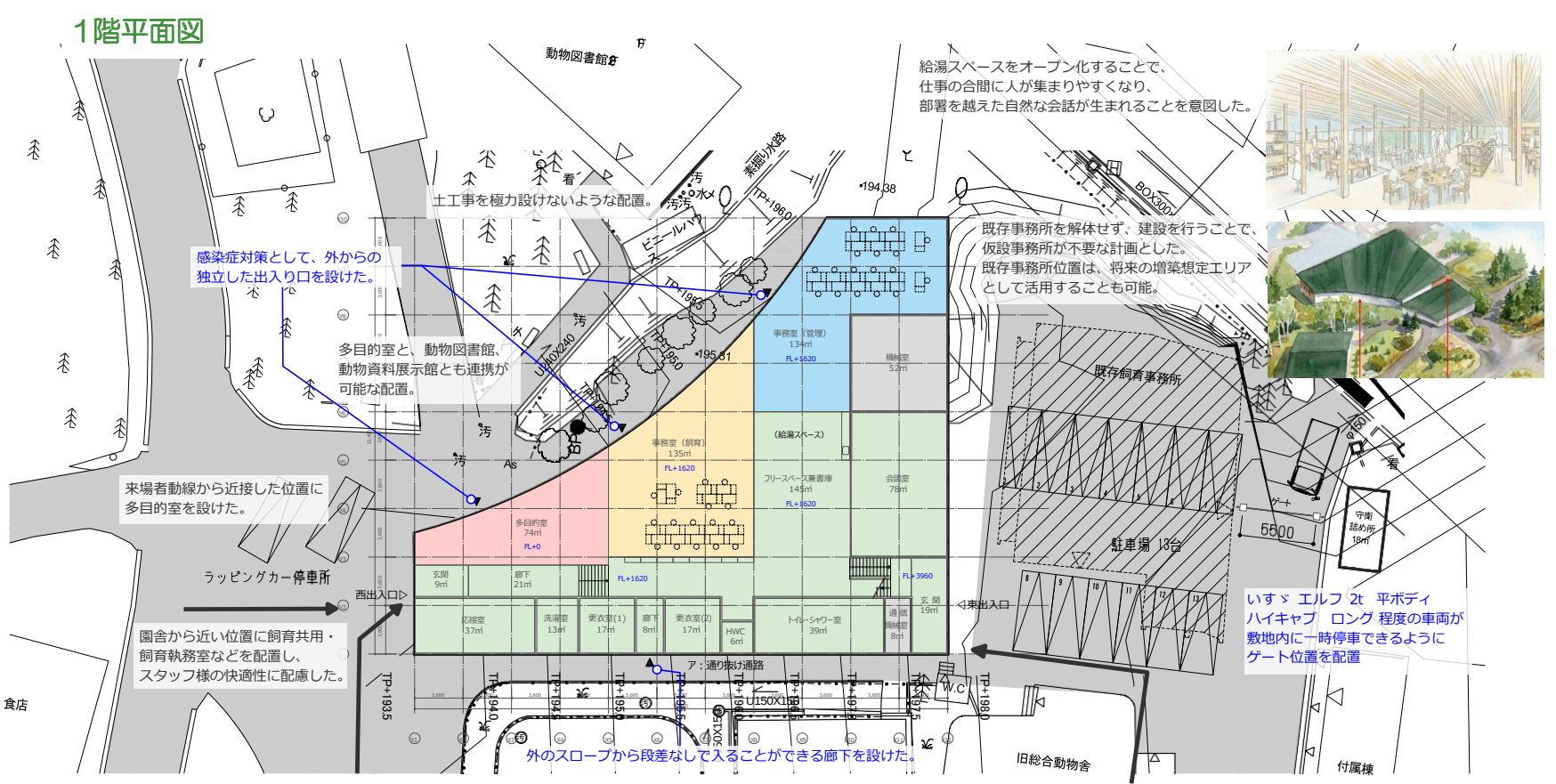
2.配置および階数検討

計画条件を踏まえ、2階以下、1,000㎡以下の建物を前提として、以下の配置および階数の検討を行いました。

| 案名           | 既存建替案                                                                               | 2階建案                                                                                | 採用<br>平屋案                                                                            |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|              |   |   |   |
|              |  |  |  |
| 案の特徴         | 既存の飼育事務所棟の位置で建替えを行う計画                                                               | 既存の飼育事務所棟をよけた西側斜面に2階建ての新事務所を建設する                                                    | 既存の飼育事務所棟をよけた西側斜面に平屋を新築する計画                                                          |
| 職員のコミュニケーション | ○<br>飼育事務所と管理事務員が同一のフロアにあるため、コミュニケーションが発生しやすい。                                      | ○<br>快適性と、コミュニケーションの誘発を両立したユニークな執務空間が実現可能。                                          | ◎<br>飼育事務所と管理事務所だけでなく、コミュニケーションエリアや多目的室も同一フロアにあり、最もコミュニケーションが活性化しやすい                 |
| 可変性          | ○                                                                                   | △                                                                                   | ◎<br>階で分断されないため、将来の変更・拡張に最も柔軟に対応ができる。                                                |
| 動線計画         | ○<br>来客者動線側から、車両を停めることができる。                                                         | ○<br>駐車場を東面に配置することで、建屋を来園者動線に近づけて建てることができる。                                         | ○<br>駐車場を東面に配置することで、建屋を来園者動線に近づけて建てることができる。                                          |
| 工事計画         | △<br>崖地部分で土地造成・擁壁・土留工事が発生する。                                                        | ◎<br>土地造成・擁壁・土留工事を最小限に抑えることができる。                                                    | ○<br>一部、土地造成等が必要となる。                                                                 |
| 工期           | ×<br>仮設事務所の建設、既存事務所の解体を行う必要がある。                                                     | ○<br>仮設事務所の建設、既存事務所の解体を行う必要がない。                                                     | ○<br>仮設事務所の建設、既存事務所の解体を行う必要がない。                                                      |
| 引越し、移転計画     | ×<br>飼育事務員は引越しを2回行う必要がある(仮設事務所への引越しと、新築建物への引越し)。                                    | ○<br>引越しは1度でよい。守衛室について、移転が必要となる。                                                    | ○<br>引越しは1度でよい。守衛室について、移転が必要となる。                                                     |
| コスト          | ×<br>仮設事務所の建設費用が発生する。<br>土地の造成などのコストもかかる。                                           | ○<br>仮設事務所の建設費用が発生しない。<br>土地の造成が少ない。                                                | ○<br>仮設事務所の建設費用が発生しない。<br>エレベーター、階段等のコストがかからない。                                      |

3.配置および平面計画

平屋構成を活かし、ワンルーム化した執務空間による交流促進と、外部直結動線および可変性のある諸室計画により、感染症対策と将来対応性を両立する計画とします。



4.構造計画

木材を積極的に活用しつつ、将来の柔軟性を確保するため一部にRC耐震壁を配置し、部材の適材適所を徹底した計画とします。

木架構+木耐震壁案

木耐震壁 t=200

→執務室に多数耐震壁を設けないといけない。

採用  
木架構+RC耐震壁案

鉄筋コンクリート耐震壁 t=200

→執務室に耐震壁はなし。

5.工法・施工計画

施工・工程検討を行い、平屋案が2階建案より有利であると考えます。

平屋案の場合(冬季休業あり、杭基礎想定)

